

# 滋賀縣七年度産業振興土木事業大要

昭和七年度に於ける滋賀縣下道路改良工事の内政府の七年度産業振興土木事業として國庫の補助に依り指定府縣道第一號(大津線)第七號(石田線)及同第八號(大津線)の三線を選ひ昭和七年六月指定七號觀音坂隧道工事の着工を始とし指定八號線、安曇川橋、同第一號線米原地内跨線橋に伴ふ前後道路工事と引續其の工を起せり

今其工事の大要を述べんに、總工事費三十二萬餘圓の内觀音坂隧道工事費十三萬圓餘安曇川橋工事費十三萬圓餘及米原跨線橋前後道路工事費五萬圓餘にして其の中國庫の補助金七萬圓とす

指定府縣道七號線は長濱大垣を結ぶ交通上の樞要幹線にも不拘通稱觀音坂の一大峻嶮在し本隧道開鑿の聲は遠く十數年前より叫ばれたるも遂に其機を得ざりしもの、昭和六年八月六年度失業救濟事業として其前後取付道路に先じ着手し翌七年二月竣功引續き同七年六月より産業振興土木事業として隧道工事に着手翌八年三月全く其功を終へ年來

の希望を達成したるものにして、同地方且て無き大なる喜ひと共に目出度く七月五日の吉日を卜し竣功式を舉行せり  
指定府縣道第八號(大津今津線)安曇川橋は西近江路の幹線中にあり交通日に繁劇を加ふるに不拘三十星霜を経たる木橋にして橋體漸く腐朽し年々其修理に資を費すの甚數ものあり而も辛して橋齡を保ちたるもの今回産業振興土木事業の一となし昭和七年十月其の工を起し本年七月下旬を以て其竣功を見同八月五日竣功式を舉行せり。

一方指定第一號(大津線)は管下阪田郡米原町地内に於て鐵道東海道線及北陸線と平面交叉をなし、其の踏切に於ける遮斷時間實に一晝夜を通し十六時間にして常時遮斷せらるを原則とし列車通過の隙を見て開放するが如き状態にして實に交通上の一大痛なりしもの名古屋鐵道局と協調の結果、高低交叉となし跨線橋工事費は鐵道省の負擔とし(鐵道省は踏切廢止の爲番人五人年額三、五〇〇圓の人員費の節約となる)前後取付道路は縣にて負擔し、産業振興事業

の一として施行することとし、昭和七年十一月着工せるものなり、而して列車通過回数繁劇なる東海道線の跨線橋(橋長M六〇・九六)プラット型構橋架橋事業も鐵道當局の手に依り昭和七年十二月五日無事了り、引續き道路工事を施行已に其大部を終へ近く其竣功を見るに到りたるものなり。

本産業振興事業の完成は隣都京都市と天津市を結ぶ京津國道改良工事の完成に伴ふ産業の發達並びに七年度農村振興土木事業完了に依る地方道路の發展と相呼應し地方産業の發達を利するもの大なるものあり。尙本事業に依り使用する労働者總數六萬九千人(七月末現在)に失業者救済の上よりしても初期の目的を達成せるものなり。

### 觀音坂隧道

一、隧道名 觀音坂隧道、一、位置 滋賀縣阪田郡北郷里村石田大原村 入會、一、路線名 指定府縣道第七號(府縣道石田江朝日近江) 停車場線、一、事業種目 昭和七年度産業振興國庫補助工事、一、施行方法 請負工事、一、延長 三三〇米、一、幅員 五、米四五、一、拱卷立 混凝土ブロック三枚一六枚、一、地盤 粘盤岩、一、側壁混凝土 配合一・三・六

混凝土、一、隧道内路面鋪裝 膠石鋪裝厚三糎、一、工費 二二九、九四〇圓〇、一、期間 起工昭和七年六月 竣工同八年三月、一、取付道路 東口一、三五二米突 五米四五 西口一、三二四米突 五米四五 失業救濟國庫補助工事(起工昭和六年八月工費四二、三二二、竣工同 七年二月) 圓、請負人 東口 名古屋市奥田秀太郎 西口 福井市飛鳥 文吉

### 安曇川橋

一、橋名 安曇川橋、一、位置 滋賀縣高島郡 新儀村新庄 青柳村青柳入會、一、路線名 指定府縣第八號(府縣道大津今津線) 一、事業種目 昭和七年度産業振興國庫補助工事、一、施行方法 請負工事、一、請負人 東京市大倉土木株式會社 一、橋型及橋長 大橋ワレレン型鋼構二連(六二、一二米突) プレートガーダー二連(一一五二米突) 小橋鐵筋混凝土單桁 四連(一〇・九一米突)、一、橋幅 五米 四六(有効幅員)、一、橋面鋪裝 膠石厚(五糎)、一、橋臺 橋脚 鐵筋混凝土造、一、地盤 砂磚層、一、取付道路 左岸(新儀村) 一、八二米突、右岸(青柳村) 一一五〇米突、 一、工費 一三七、四〇〇圓〇、一、期間 起工昭和七年十月 竣工昭和八年七月